

フラッシュバルブメモリに関する記述として妥当なのはどれか。

1. 適切な時期に自発的にタイミングよく、目的の行為を想起するような認知処理が必要とされる、未来に行うことを意図した行為の記憶である。
2. 視覚刺激がごく短時間提示されると、提示終了後もその刺激のイメージが実際にまだ提示されているかのように感じる現象である。
3. 過去のある瞬間に知覚していた対象が、明瞭に再現され、あたかも実際にその対象を知覚していると感じるような心的イメージ像であり、その像を眼で走査したり、組み立てたり操作することができる。
4. 種々の認知課題遂行中に一時的に必要な情報の保持や、そうした働きを支えるシステムである。
5. 衝撃的な出来事を初めて見聞きしたときの状況について、鮮明かつ詳細に想起される記憶である。

セルフ・サービング・バイアスに関する例として最も妥当なのはどれか。

1. Aさんは、期末試験に失敗した際、自分が努力しなかったにもかかわらず、失敗の原因を試験問題が必要以上に難しかったためだと考えた。
2. Bさんは、友人のCさんがやむを得ない事情で遅刻したにもかかわらず、Cさんが時間にだらしないためだと考えた。
3. Dさんは、タレントのEさんが単に役柄で医者を演じているだけなのに、Eさんの知性を高く評価するようになった。
4. Fさんは、スポーツ選手のGさんのファンである。Gさんのファンは実際はそれほど多くはないが、Fさんは周囲の大多数の人もGさんのファンだと思っている。
5. Hさんは、今日のスピーチでミスをするのではないかと気にしていたら、やはり重要なポイントを言い忘れてしまった。

I種 福祉・心理

民間企業における障害者雇用に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。なお、民間企業の障害者雇用の動向については、「令和4年 障害者雇用状況の集計結果」に基づくものとする。

- ア. 民間企業における法定雇用率は2023年4月現在、2.3%である。
- イ. 民間企業の8割が法定雇用率を達成している。
- ウ. 民間企業に雇用されている障害者数は100万人を超えている。
- エ. 民間企業で雇用されている障害者について障害種別にみると、身体障害者が最も多い。

- 1. ア, イ
- 2. ア, ウ
- 3. ア, エ
- 4. イ, ウ
- 5. イ, エ

I種 福祉・心理

次の記述ア～ウは、デュルケムが『自殺論』において論じた自殺の類型に関するものである。記述と類型の組合せがいずれも妥当なのはどれか。

- ア. 社会的規制が過度に弱い状態で、人々の欲望が社会によって規制されなくなることによって生じる自殺のことである。
- イ. 社会集団の統合度が過度に弱いときに、生きる意味や目的を失うことによって生じる自殺のことである。
- ウ. 社会集団の統合度が過度に強く、個人が集団の中に埋没している状況下で生じる自殺のことである。

ア	イ	ウ
1. アノミー的自殺	自己本位的自殺	集団本位的自殺
2. アノミー的自殺	集団本位的自殺	宿命적自殺
3. 自己本位的自殺	アノミー的自殺	集団本位的自殺
4. 自己本位的自殺	アノミー的自殺	宿命적自殺
5. 宿命적自殺	自己本位的自殺	アノミー的自殺

(正答 1)